

2-2 シンセベース

シンセベースの役割

一般的なベース同様、シンセベースは楽曲の低音部を支える非常に重要なパート。しかし、シンセベースにはもうひとつの大切な役割があることを忘れてはならない。それは、**楽曲にグルーブを与えること**。

ハウスのような4つ打ち音楽では、シンプルなリズム故にドラムセクションだけでは楽曲のグルーブを表現するにはやや不十分なことも。とくにキックは、ひたすら四分音符を刻むだけの割り切ったリズムパターンのため、ベースのリズムを加えることでグルーブ感を補うとよい。

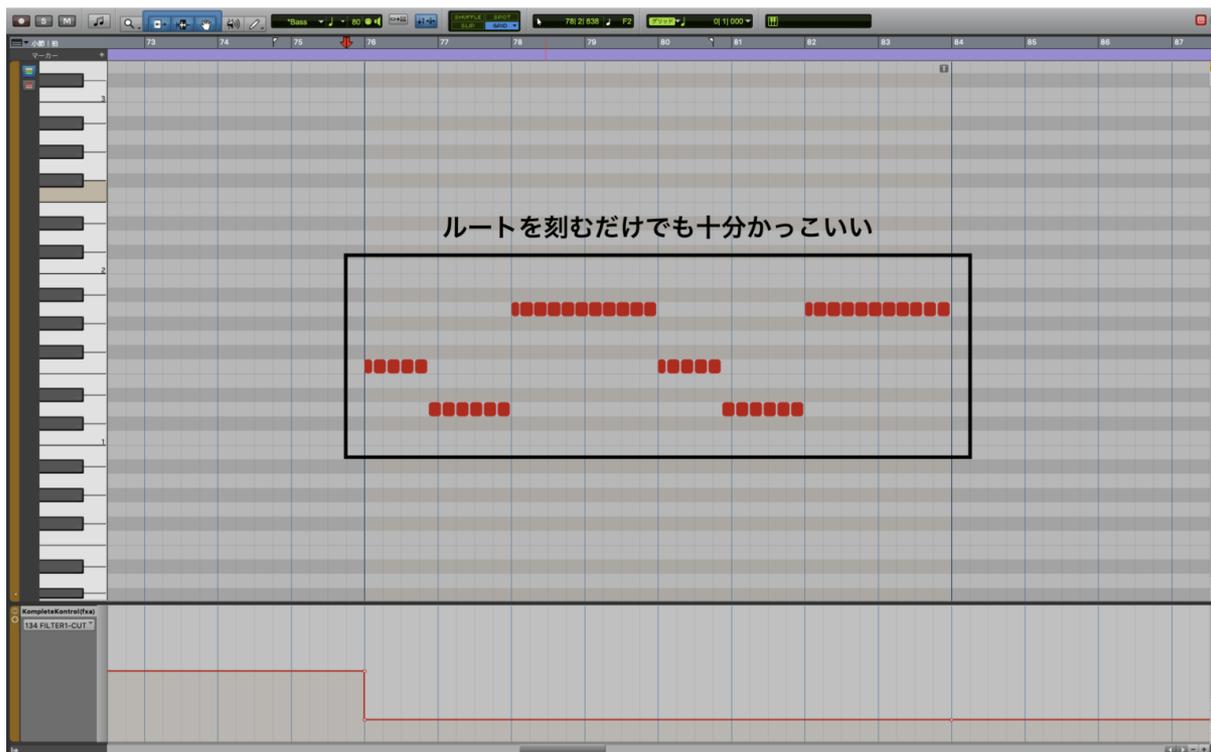
シンセベースの役割

シンセベースの役割はグルーヴの付与！



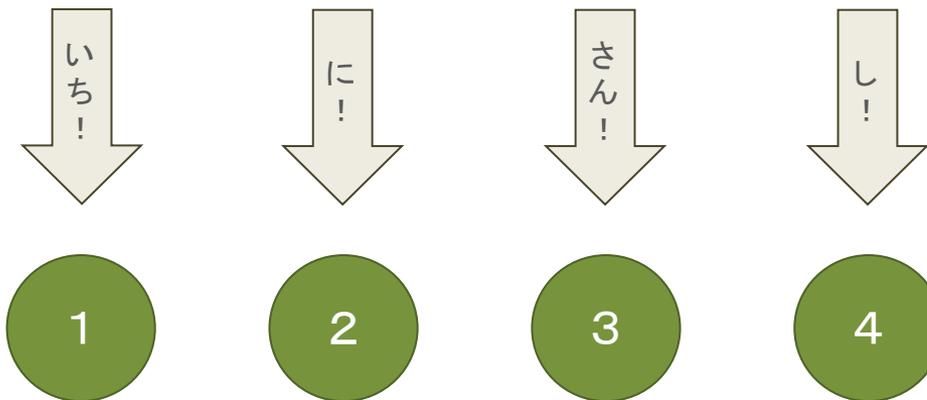
シンセベースのアレンジ法

シンセベースは、淡々とルートを書き込むだけでも十分カッコよく仕上がる。往年の楽曲では動きのあるベースもよく見られるが、最近のトレンドとしては、ひたすらルートを書き込んでいるだけのシンプルなサウンドが多い印象。

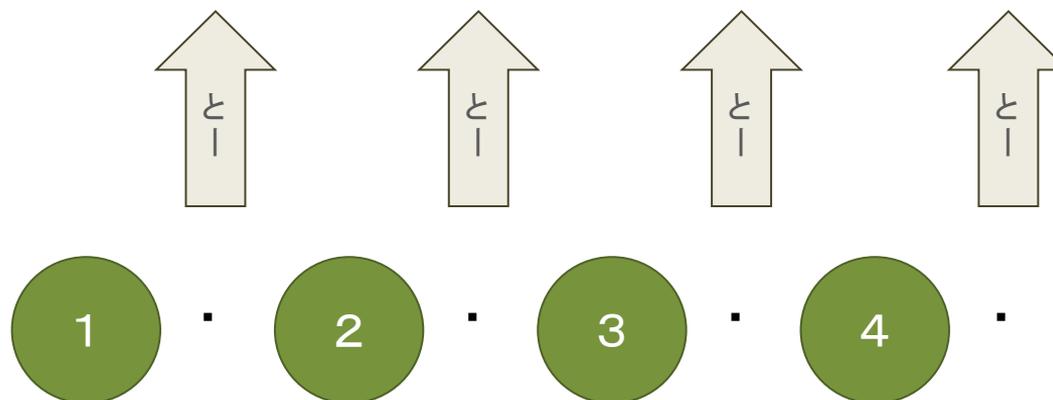


裏ノリを意識する

表ノリのイメージ



裏ノリのイメージ



裏ノリを意識したフレーズ例

8分裏パターン

Fmaj7 Dm7 Em7/A Am9



Musical notation for 8分裏パターン: A bass clef staff in common time (C) with four measures. The notes are: F4 (quarter), A4 (quarter), C5 (quarter), B4 (quarter); G4 (quarter), F4 (quarter), E4 (quarter), D4 (quarter); C4 (quarter), B3 (quarter), A3 (quarter), G3 (quarter); F3 (quarter), E3 (quarter), D3 (quarter), C3 (quarter).

8分裏オクターブ

Fmaj7 Dm7 Em7/A Am9



Musical notation for 8分裏オクターブ: A bass clef staff in common time (C) with four measures. The notes are: F4 (quarter), G4 (quarter), A4 (quarter), B4 (quarter); C5 (quarter), B4 (quarter), A4 (quarter), G4 (quarter); F4 (quarter), E4 (quarter), D4 (quarter), C4 (quarter); B3 (quarter), A3 (quarter), G3 (quarter), F3 (quarter).

シンコペーション
(2拍ループ)

Fmaj7 Dm7 Em7/A Am9



Musical notation for シンコペーション (2拍ループ): A bass clef staff in common time (C) with four measures. The notes are: F4 (quarter), A4 (quarter), C5 (quarter), B4 (quarter); G4 (quarter), F4 (quarter), E4 (quarter), D4 (quarter); C4 (quarter), B3 (quarter), A3 (quarter), G3 (quarter); F3 (quarter), E3 (quarter), D3 (quarter), C3 (quarter).

シンコペーション
(2小節ループ)

Fmaj7 Dm7 Em7/A Am9



Musical notation for シンコペーション (2小節ループ): A bass clef staff in common time (C) with four measures. The notes are: F4 (quarter), A4 (quarter), C5 (quarter), B4 (quarter); G4 (quarter), F4 (quarter), E4 (quarter), D4 (quarter); C4 (quarter), B3 (quarter), A3 (quarter), G3 (quarter); F3 (quarter), E3 (quarter), D3 (quarter), C3 (quarter).

シンセベースの音作り:オシレータの設定

■ メインのオシレータ

音程感やパワー感を決める主役のオシレータ。ノコギリ波、矩形波など倍音の多いものを選択し、ユニゾンでデチューンするとパワフルに仕上がる。

■ サブのオシレータ(サブベース)

メインのオクターブ下で低音の補強を行うオシレータ。サブベースを入れることで重心が下がり、安定感のある低音を実現できる。さりげなく補強したいならサイン波や三角波など倍音の少ないものを、よりパワー感を出したいならノコギリ波や矩形波を使うと良い。

シンセベースの音作り:オシレータの設定



シンセベースの音作り:エンベロープの設定

■ アンプリチュードエンベロープ

グルーヴ感を出しやすいよう、アタック早め、ディケイ早め、サステイン小さめを基本に、立ち上がりが早く直後に減衰するエンベロープを作っていこう。

■ フィルターエンベロープ

アンプリチュードエンベロープ同様、アタック早め、ディケイ早め、サステイン小さめでアタック感を重視したセッティングに。軽めにレゾナンスを上げるとより輪郭のはっきりしたサウンドに仕上がるが、やりすぎるとビヨビヨしたコミカルなサウンドになるためほどほどに。

シンセベースの音作り:エンベロープの設定

■ アンプリチュードエンベロープ



■ フィルターエンベロープ

